

稲グリ新聞

発行
早大グリーンクラブOB会
稲門グリーンクラブ

編集
加藤 晴 生 郎 豊 了
藤原 信 二
佐々木 川
石川 川

〒192-12武蔵村山市大南
2-26-12 藤原信二郎方
TEL (0425) 65-1839
(毎月1回発行) 定価100円

ソビエト演奏旅行

備えあれば憂いなし
早めにかかろう、諸準備

ソ連演奏旅行担当マネ 安斎 真治(四七)

ソビエト演奏旅行まで二ヶ月余りとなりましたが、ようやくレニングラードでの会場と、一緒に出演する女声合唱団が確定しました。会場は、「ボリショイザール」、女声合唱団は、「グリーンカ・コー」で、レベルも何となく高そう

です。(グリーンカは、十九世紀初めにロシア民族音楽とクラシック音楽を見事に調和させた音楽家)モスクワでの演奏会場には、当初、コンセル・バトリ(モスクワ音楽院大ホール)を予定していましたが、スケジューリング調整が困難

なため、他の会場になる場合もあります。また、女声合唱団もまだ決まっています。現時点での情報では、レベルの高い合唱団になりそうです。

今年、チャイコフスキー生誕一五〇周年記念の年であり、チャイコフスキー・コンクールが行われる年でもあります。今、何かと注目を集めているソビエトです。行くからには悔いのない良い演奏と、楽しい旅が出来るように、気合の入った練習と万全の体調維持に努めましょう。

【事務連絡】
パスポート(旅券)、ビザ(査証)の手続きについて
旅行会社より渡航手続き必要書類が参加メンバー個人宛に、二月

稲グリ 練習日程(平成2年)

2月18日(日)	学生の家	12:00~17:00	阿波、ロシア(堀)
20日(火)	東混練習場	18:30~20:00	ヒットアルバム
25日(日)	学生の家	14:00~17:00	阿波
27日(火)	東混練習場	18:30~21:00	"
3月6日(火)	"	"	ヒットアルバム
10日(土)	奉仕園(小)	14:00~17:00	ロシア民謡
13日(火)	東混練習場	18:30~21:00	阿波

■強化練習=地方在住で、ソ連演奏旅行参加者練習日

17日(土)	奉仕園(小)	15:00~21:00	阿波、ワッ(堀)
18日(日)	学生の家	12:00~17:00	"

20日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ヒットアルバム
25日(日)	学生の家	14:00~17:00	ロシア民謡
27日(火)	東混練習場	18:30~21:00	阿波
4月1日(日)	プレイス24	14:00~17:00	ヒットアルバム
3日(火)	東混練習場	18:30~21:00	阿波

■強化練習=地方在住者参加日

7日(土)	奉仕園(小)	15:00~21:00	(堀)
8日(日)	学生の家	12:30~17:30	"

10日(火) 東混練習場 18:30~21:00 内容未定

■以降は予定

14日(土)	臨時練習
15日(日)	演奏会形式ゲネプロ、ソ連演奏旅行「結団会」
17日(火)	東混練習場 18:30~21:00
21日(土)	臨時練習
22日(日)	"
24日(火)	東混練習場 18:30~21:00

《ソ連演奏旅行(予定)》

4月29日(日)	成田出発(アエロフロート)
30日(月)	モスクワ公演(会場未定)
5月2日(水)	夜、レニングラード公演 (グリーンカ記念音楽堂)
6日(日)	帰国

下旬から三月上旬にかけて送付されますので、速やかに手続きを取って下さい。

◆準備するもの
パスポート手続き
戸籍抄本、住民票、
写真二枚(5cm×5cm)
費用(印紙代)
数次旅券 八〇〇〇円
一回旅券 四〇〇〇円

☆ビザ手続き
写真四枚(4cm×4.5cm)
費用 五〇〇〇円

☆渡航手続き代
旅券又は査証取得 五〇〇〇円
旅券及び査証取得 六〇〇〇円
☆旅行費用 約四〇〇、〇〇〇円
☆申込金を除いた残金支払期日
三月二十日(追って通知します)

☆旅行代理店名
MOエアーステム(株)
グループ連絡網のこと
参加メンバーを五人から七人ずつ、十一のグループ(うち一つは小俣マネ担当の地方グループ)に分けて連絡網を作りました。必要な事務連絡は各グループのチーフを通して確認していきたいと思っております。一覧表は練習場等で配付。

(注)平成元年度発行の新OB名簿での安斎真治の自宅電話番号が間違っていますので、ご注意ください。
(正)〇三二七一一八二八三六
【参考事項】
*東京・モスクワ間フライト時間 約一〇時間
*時差 五時間(四月以降の夏時間)
*気温 八・三度(四月・五月の平均)

*ホテル
モスクワ「コスモス」(一九八〇年建設、客室一七六七室)
レニングラード「モスクワ」(客室七七〇室の近代的水上)

稲グリ「郵便振替口座」を開設

OB会名簿(一五〇〇円)及び「ソング・オブ・ワセダ」(二五〇〇円)の代金はこの口座を利用して下さい。セットでご注文の場合は送料クラブ負担。(石原)

東京九一三四五八二
稲門グリーンクラブ

練習状況

組曲「阿波」は、全五曲を一通りさらった程度。「ロシア民謡」はこれから、「ヒットアルバム」は何とかならずに歌える程度である。これからの各自の工夫と努力が望まれる。「阿波」と「ロシア」は練習テープの活用が効果的。各パトリへお申し付けを。

出席記録

	1/9	16	23	28	30	2/4	6	
T ₁	14	8	5	6	13	10	8	B ₂ 青木
T ₂	12	9	8	6	12	8	13	岩瀬
B ₁	13	5	13	11	15	9	10	井上
B ₂	14	10	11	9	15	13	16	高橋
	53	32	37	32	55	40	47	邦生さん(三二) 伸行さん(六一)

90稲グリ・ソビエト演奏旅行参加メンバー

Table listing members of the 1990 Rikugri Soviet Performance Tour. Columns include names and ages, categorized by group (TI, TII, BI, BII).

平成2年2月12日現在



現役グリーを振ること十数年 福永陽一郎先生逝く

佐々木 豊(五九)

「さ、そのところ、もう一回行くとよ」——人生の半分以上の歳を指導。くわたり、アマチュアコーラスを(写真は第6回OB四連パンフ)

石川了君(六一)のこの電話で起こされた。二月十一日、日曜日の早朝である。一瞬絶句、石川君にいろいろ尋ねる声が届いている。昨日は新婚の阿部さん(五七)を祝福して来た。たばかりなのに、正に天国と地獄の午後から田中玄昌さん(五四)の車に、合宿でお世話になつて松尾伊都子さんと共に同乗させている。藤沢市斎場のお通夜に駆けつける。駐車場は満車。すごい人だ。連休中にもかかわらず、市内内合沢市役所、同市交響楽団、同市内合唱団、ワセグリも含むその他の合唱団、一般の方々がギッシリ。案内や受付をして下さるのは、各合唱団の生達だ。雨も止み、春一番が吹いて寒くはない。これら全て福永

1990年度 早稲田大学グリークラブ 役員紹介

Table of club officers and members for the 1990 season, including roles like Manager, Treasurer, and various vocal parts.



- List of scheduled performances for the year, including dates and venues like Bunkamura and various halls.

悲しみを乗り越えて さらなる飛躍を!

単独のステージでは、六連十三回、四連一回(注、以上はそれぞれ二回公演)、定演は十三回(ただし昭和五十二年のみ二回公演)、送別卒団生ステージ五回。このほか、海外演奏旅行(二回同行)、レコーディン

先生のご人徳の賜物かと思う。何人かの方のお別れの言葉は聞く者の涙を誘ったが、気丈な先生のお姉様の「陽ちゃん、自分ほど幸せ者はいない」とよく言っていました。最後の一時間位だったらしい。翌十二日は正午から告別式。二日続けて参列の人も少なくない。泊まった人もい



元藤原歌劇団員で、同常任指揮者の福永陽一郎(ふくなが よしちろう)さんが、十日午後八時六分、急性心不全のため神奈川県藤沢市の同校でピアノ、指揮を学び、昭

検査入院! 「異常なし」で退院の日 指揮者・福永陽一郎さん急死

和三十一年、藤原歌劇団のタクのため同病院に先月二十二日(ス)日本初演で、ABC交響楽団を指揮してデビュー。同歌劇団や市民オペラの指導の合唱団や市民オペラの指導。指揮にも力を注いでいた。福永さんが入院していた同病院の柏木政伸院長は「福永さんは数年前からじん不全で、人工透析を受けておられた。直接それが影響していたかどうかは主治医の報告を聞いてみないとわからない」と言っている。

すると共に、先生が安らかにお休みになるためにも、我々はすべからく合唱の(音楽の)灯をともし続けねばならないと思うのである。合掌。 ◆福永陽一郎先生のご逝去にあたり、 稲門グリークラブおよびOB四連からは弔電を打ち、またOB四連を代表して、ワグネルOBの吉川責任者(四七)がお通夜に参列した。(左は毎日新聞十二日朝刊から)

稲グリメン、テレビドラマに初出演!!

テレビ東京、放映は四月十二日、乞うご期待

「お疲れサマー、OKです。」
調布市(東京都)にある日活撮影所、張りつめた雰囲気の中、助監督の大きな声がスタジオに響いたのは、もう午前一時のことであった。

B₁ 岩本さん(三九)が渋谷で飲んだくれていたときに、同席していたテレビ東京の関係者からいわゆるヒョーンな話から出演が決まったもので、「昭和三十年代の歌声酒場のドラマシーンを録りたいが、酒場の客としてロシア民謡を歌って欲しい。」とのこと。

番組は、テレビ東京開局記念ドラマ「マスペシャル」の「ファーストレディ」(遠藤周作原作・出目昌伸監督)の放映、平成二年四月十二日(木)午後八時〜十時五十分。出演、石田あゆみ、津川雅彦、加賀まり子、田村亮、樹木希林、工藤夕貴ら。

稲グリメンの出演は、二日に分けて行われた。第一回は一月十九日(金)夜、フジテレビの5スタで、「なるべく下手に歌って下さい」という無理な注文に苦勞しながらも頑張って早々と録音終了。「こんなんでギヤラ貰っていいのかな」などといいつつ、その足でヤッパし宴会。

第二回目一月二十四日(水)の録画もこの調子でと、勇躍日活スタジオに乗り込んだ。まだよかつたが、何をやるんだか全然分からない人達が、大勢集まって口々に怒鳴りあうという、いつもと勝手が違う雰囲気。さすがの稲グリメンもタジタジ。
シーンには石田あゆみと津川雅彦を歌声酒場店内の中央に据えての

ビデオ録り。夏冬二シーンあるの。その度に衣装を変える。「ここまで大声、ここから口パクで歌って!」「このセリフのときここから歩いて行って!」「この合図で階段から降りて!」「この切っ掛けで主役をやじりたおして!」等々次

三十五年卒「十日会」報告

B₁ 茨木 泰隆

三十五年卒の「十日会」が、恒例となった正月第二土曜日(十三日)、例年通り馬渡君格別の手配により、全日空ホテル・スイカiba「アストラ」別室を借り切って催された。「十日会」は登録メンバー三十六人、卒業以来欠かさず正月の集いを続け、今年も地方から馳せ参じた面々(宇部一、神戸一、大阪三、岐阜一、名



今年、三十回を数えた「三五会」の面々。指揮・村主一彦

々と注文が付き、テスト、本番の果てしない繰り返して、アツという間に深夜に突入。あの監督の勢いは朝までぶっ続けるのではないかとマジメな勤め人である稲グリメンとしては恐怖におののいたが、その気配を察したか、何とか午前一時に終了。全員ホッ。この日のギヤラの何となく感じたことともあれ、どんな演技注文にも動ぜずに安々とこなす稲グリメンの雄々しい姿に一種の感動さえ覚え、これで大阪稲グリメンの舞台出演と共に東京稲グリメンも演技面でも評

古屋一、宇都宮二)を加え総勢二十四名の賑わいとなった。また、ここ数年の恒例として今年も桜楓同期のそうそうたるご来友九名も加わり、会は華やかかつエレガントな雰囲気。旧交を温めあつた。折しも出来たての「ソング・オブ・ワセダ」を全員が手にして村主(すぐり)君の指揮で即製の混声をきれいにハモラせた。大阪稲グリ幹事長の豊田君より彼の地の張り切りすぎオジンの活躍ぶりが伝えられ、一同その元気に圧倒される。中でも三十五年組は、坂場、T、鎌田、長井、松並、B、豊田、富永、三宅と、実働七名で盤石の主力を構成している。A会員の少ない在京メンバーはぜひ発奮して欲しい話。
加えて、加藤幹事長(三七)も駆けつけてくれ、昨年今年の活動状況を披露、乞うご支援のメッセージに一同大きな拍手。持ち寄りの賞品によるビンゴゲームに湧いた後、来年の再会を約して「稲門倶楽部」の二次会へ。

価を得たものと一同喜びあつた。(ただし、カットがコワイ) 諸兄には、四月十二日の放映、必見のこと!

- 《出演メンバー》
石原(三五)、奈良原(三六)、浦野(三六)、耕納(三七)、辻田(三七)、岩本(三九)、佐藤(隆・四一)、額原(四二)、佐々木(四二)、福島(五五)、草野(稲グリ友の会会員・付人と演じた某E氏の会社の女の子。)
- 《出席者》
T₁ 石原、坂場、坂本、島田、高橋、山口、山本(一)
T₂ 秋元、鎌田、渡辺(功)、B₁ 茨木、富永、豊田、野瀬、野村、松本、渡辺(佳)、B₂ 浅井、板垣、村主、高梨、馬渡、宮崎、宮地、桜 楓、飯塚、川村、桑原、高仲、田中、友松、松本、水嶋、宮島(旧姓略)

新月会・三谷東京支部長が
ホノルルへ転勤
OB四連仲間送別会を開く
OB四連マネ 清水 実(三八)

日本旅行ハワイのホノルル支店にこの一月、赴任することになった新月会の三谷章夫・東京支部長(四〇)を送る会が、出発の二日前の一月二十四日(水)、赤坂工スカイヤクラブで開かれました。出席者はワグネルOBから吉村さん(五〇)、児玉さん(六三)とヒズ何故かフィアンセ、東京クローバーから矢ヶ崎さん(五四)、それに私の計六人でした。ハワイには三年ないし五年の赴任となりそうと、稲グリハワイ演奏旅行はその間に是非、協力を惜しみませんとのこと。

新月会東京支部は当面四月まで山本日出男さん(四五)が支部長代行。三谷さんのハワイでの活躍と新月会東京支部の頑張りを見守りたいものです。

本年もよろしく!
岡村 喬生(29)

CDブック「Viva! Opera」
主婦の友社 3,300円 発売中
岡村喬生のオペラへの招待 これ一冊でオペラのすべてが解ります

CD「赤とんぼ」 クラウン 2,800円
岡村喬生・日本の抒情歌を歌う
「赤とんぼ」「浜千鳥」「夕焼けこやけ」など全21曲
2月21日発売

岡村喬生バスリサイタル「冬の旅」
ピアノ伴奏 岩崎 俣
2月22日(木)19時開演
東京文化会館(小)3,000円

【ハミダシ情報】 B₁ 山本茂男さん(二七)のお嬢さん佳代さんが、三月二十一日(祝)教会で結婚式の後、ホテル・グランドパレスで披露宴。新郎はNITのフレッシュマン。祈ご多幸。

「ハミダシ情報」B、浦野坦さん(三六)のお嬢さん典子さんが三月二十四日(土)、日本青年館で結婚挙式。新夫は元西六郷合唱団のボーイソプラノ。祈ご多幸。

阿部滋さん(五七)が「結婚」♥

TGS特派員 T・P 記

去る二月十日(土)、かねてから報じられていたとおり、稲グリ若手ホープの一人、阿部滋さん(五七)が高校の恩師を介して知り合った三浦千代さんと、市ヶ谷・私学会館でめでたく挙式・ゴールイン。

披露宴は午後二時二十分からで、同期の山本正洋さんが司会に指揮にと活躍。グリ関係者は、先輩・同期が約十五名ほど出席。稲グリ恒例の「駆けつけ・歌のアレセントメンパー」も全部で十五名。東響コーラスのメンバーと「異域同舟」(?)の控室で、練習を少々、軽食とビールをバクバク、ガブガブ。ウオーミングアップして案内を待つ。さて出番。心強い昭和五十七年卒組のバックアップもあり、またグリ場場のせいか、一回比較的新郎の志賀副会長(二九)から新郎のエピソードをまじえた祝辞が述べられたのに続き、「いざ起て戦人よ」(見上げてごらん夜の星を)「輪踊り(月下の一群)」の三曲を熱唱。特別「輪踊り」は新郎自ら伴奏を務めるなど、その新郎、いや心労たるや察するに余りある。合唱の不協和音

は新生活生活に入ってから、の反面教師として活用していただきたいという謎かけである。(ホントかな?)

披露宴の後七時より、六本木の「スコッチハウス25・アクシス店」で二次会。同期の平田耕造さんを幹事、後輩の佐々木豊さん(五九)を司会に、約五十名の参加を得て開会。新郎自らソロをしての「アカシヤの径」(最上川舟唄)なども飛び出し、駆けつけた福井会長(二九)も「ソ連では彼がソロを歌うかも」との祝辞。「目隠しクイズ」「クイズ」など二次会恒例企画の合間には、奈良原さん(三六)からプレゼントの贈呈と口上があり、「庄や市ヶ谷店」でガソリンを入れて来たというだけに、いやが上にも場内は盛り上がる。これに乗って登場した仁科正夫さん

(五六)の「結婚行進曲」「タイムリーマーチ」「ダイナマイトマーチ」が大爆笑をさらし、土屋さん(四四)は「岩淵(五八)不在の今、稲グリに君が必要だ」と泣いて懇願。かくして盛會裡にお開きとなった。

何れともあれ、お二人は稲グリ期の待のカップル。幸せになつてほしい。なお、ご参考までに、ハネムーンは、萩、山口、津和野、倉敷方面へ翌日より五泊六日の旅。海外旅行はソ連へ行くから(?)やらない。新郎は三年生担任の高校教師ゆえ、この時期の休暇は業務に支障なし。受験期の生徒達から、祝福と羨望と罵声を一身に浴びている。

断舌記

その一 坪井秀夫(二八)

山路オペラ「久米の仙人」出演

(発端)

気が付いたのは一昨年(昭和六三年)春頃。舌の裏側に白い苔か黴状のものがへばりついているのが認められた。しかし別に痛くも痒くもない。それでそのまま放っておいた。その後胃の具合が少し悪いので友人の医者に診察を受けたが特に異常なし。その折ついでに舌を診てもらったが「まあ別に大したことはないでしょう。うがい薬でも使ってみてください」とのこと。これが七月二二日。そして八月には熱海後楽園ホテルで二八年卒の同期会開催、三五年振りにみんなに会う。懐かしかった。

九月 中国演奏旅行
十月 コンクール、社用など多忙
十一月 四国、九州など旅行、

そして、十一月末にまた四国でゴルフの折り、前述の医者と同行していたので、ゴルフ場の風呂場で「おい、こんなに腫れてきたけどどうかな」と見せると「フーン」と唸るだけで取り敢えず京都へ帰つたらもう一度診察に来てくれという。

結局その医者の紹介状を持って京大付属病院へ行く羽目になった。京大病院では大病院の常であちこち引つ張り回され、CT断層写真を撮られ、患部二箇所から組織を切り取られた。検査の結果は一週間後十二月二十一日に判明すること。

一週間後
○できるだけ早く入院してください

□できるだけ早くというのは、どれくらい早くですか
○明日にでも
□(一瞬絶句)そんな。仕事もありますし年末の忙しいときなので

すると耳鼻咽喉科科長の教授がすつと傍へ来て

◎今私どもはあなたの容体について非常に憂慮しているのです。この先生のおっしゃるようになります

と柔和な顔が急に厳肅な顔になった。この瞬間、一切が判つた。ガンだ。ヤラレタ。目の前がスーッと真っ白にはならなかったが、体の中から何か脱け出て藻抜きの殻になった。ここで覚悟が決まった。

入院願いを書く段になつて手が震えて書けないのではないかと危惧したが、そんなこともなく病棟へ届け出る。その時、添付書類の病名欄を見ると舌Kとある。もう一枚の方には舌K疑とある。やつ

ばりそうか。(入院)

普通の社会生活をしているものが入院しても退屈なだけで何もすることがない。昼間はまだしも夜はどうしようもない。やたらと長い。するとどうもつきつめて考えることになる。そして結論はこれしかない。

「俺の人生は終わった。もしこれから何年か命を永らえることができたなら、それはオマケだ。永らえた分を感謝して生きるより仕方がない」と一所懸命自分に言い聞かせる。しかしいくら言い聞かせてもそう簡単に納得できるものではない。それに末期癌の悲惨な死だけは勘弁してほしい。そのため自殺の線も考えておく必要がある。病室は七階にあるので高さは充分だ。ただし下がコンクリートでないと未遂になる恐れもあるので一応ずつと見て廻つた。西北角が最も適当であることを確認しておいた。(つづく)

編集後記

お知らせ
三月六日(火)に新OB歓迎会を庄やにて開催の予定。詳細は練習日に。

福永先生語録から。その一。
「先生、愛するってどういうことですか?」
「うん、それは相手の欠点が許せるってことだと思ふよ」
「ということは稲グリメンはお互いに非常に強く愛し合っているわけかな?」
「同じくその二」
「先生、芸術って一体何ですか?」
「真つ赤な夕焼けを見て感動しない人っていないと思うんだよね。つまり夕焼けを人工的につくるのが芸術なんだよ」
「ソ連やオーストリアで夕焼けをつくるように頑張ります!」
「同じくその三」
「早稲田のグリーを三年くらい続け振つた時、ひととおり各ジャンルを代表する曲目をやつたので、もうやめにしようと思つていたんです。ところが、その年の四年生がいいがかりをつけて来まして、『僕達は一年生の時も、二年生の時も、三年生の時も先生で歌いました。四年生の時だけ違うのは何だかおかしいです』って言うんです。そんなことを言われると、その先ずつとそうして(笑)、いつまでたつてもやめられないんですよ」
こんなことを言われていた先生も、とうとう天国へ行つてしまわれまして。どうか安らかにお休みください。昭和四十年代卒以前の諸先輩には、福永先生との関係は浅かったことからも感じるところの乏しい編集後記かも知れませんが、どうか今号だけ黙認してくださいませよう。(S)